

多発性骨髄腫における MIBI SPECT-CT の有用性に関する後方視的研究

2012 年から 2018 年までに多発性骨髄腫のために MIBI SPECT-CT 検査を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「多発性骨髄腫における MIBI SPECT-CT に関する研究」という研究を行います。この研究は、2012 年 1 月 1 日より 2016 年 12 月 31 日までに日本医科大学付属病院血液内科にて、多発性骨髄腫のために MIBI SPECT-CT 検査 (Methoxy-Isobutyl-Isonitrile Single Photon Emission Computed Tomography) を受けられた患者さんの臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：多発性骨髄腫の骨病変の評価に関する研究
研究期間：2017 年 2 月 24 日 (倫理委員会承認日)～2018 年 3 月 31 日
研究責任者：日本医科大学付属病院 血液内科 守屋慶一

(2) 研究の意義、目的について

多発性骨髄腫は骨の病変の評価をすることが骨折のリスク評価や治療経過の予測に必要です。一般的に行われているものは全身の骨のレントゲンですが、病気の検出能力が不十分であることが知られています。今回、骨の病変の評価に対して MIBI SPECT-CT の有用性を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について

2012 年 1 月 1 日より 2016 年 12 月 31 日までに日本医科大学付属病院血液内科にて、多発性骨髄腫で MIBI SPECT-CT を受けられた患者さんの画像データやその後の臨床経過などを解析することで、MIBI SPECT-CT で得られる腫瘍量の数値が患者さんの治療効果予測や余命などの指標になり得るかどうかを調べます。もっと高価であったり、保険適応外である検査では余命などの指標になり得ることが分かっており、MIBI SPECT-CT でも同様であるかどうかの研究になります。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 (文部科学省・厚生労働省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 血液内科 病院講師 守屋慶一
〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5
電話番号：03-3822-2131 (代表) 内線：4077
メールアドレス：moriya@nms.ac.jp